

エコアクション21 環境活動レポート

(対象期間 2015年5月～2016年4月)



作成日 2016年 7月1日
改定日 2017年2月20日

日東事務機株式会社

■組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
日東事務機株式会社
代表取締役 村瀬 尚宏
- (2) 所在地
本社 岐阜県岐阜市西荘4丁目7番5号
商品技術センター 岐阜市西荘3丁目9番5号
東濃支店 岐阜県可児市広見5丁目86
滋賀営業所 滋賀県米原市寺倉字御所立448番地3
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 常務取締役 村瀬 勇人 TEL:058-251-7758
担当者 管理部 脇田 夕子 TEL:058-251-7758
- (4) 事業内容
オフィストータルマネジメント
デジタル複合機・FAXプリンタ等の販売及び保守
オフィス家具の販売及びワークプレイスの構築
オフィス移転・リニューアル等の総合プロジェクトマネジメント
PC及び周辺機器の販売及び保守
情報系及び通信系におけるネットワーク等のインフラ構築
通信機器・PBXの販売及び工事・保守
アスкул等のオフィスサプライの販売
- (5) 事業の規模
売上 9.5億円

	本社	商品技術センター	東濃支店	滋賀営業所
従業員	29名	無人	2名	1名
延べ床面積	451.856㎡	630.12㎡	110.65㎡	52.17㎡

- (6) 事業年度 5月～4月

■認証・登録の対象組織・活動

- 登録事業者名: 日東事務機株式会社
対象事業所: 本社
商品技術センター
対象外: 東濃支店
滋賀営業所
(新年度が始まる2016年5月1日以降は、全社全組織に拡大する予定。)
- 活動: オフィストータルマネジメント
デジタル複合機・FAXプリンタ等の販売及び保守
オフィス家具の販売及びワークプレイスの構築
オフィス移転・リニューアル等の総合プロジェクトマネジメント
PC及び周辺機器の販売及び保守
情報系及び通信系におけるネットワーク等のインフラ構築
通信機器・PBXの販売及び工事・保守
アスкул等のオフィスサプライの販売

■ごあいさつ

昭和42年創業以来、事務機販売を通じ皆様のオフィスの効率化、快適化のお役に立つ努力を重ね「小さくてもNo. 1企業をめざす」を合言葉にお客様の様々なニーズに素早く対応する努力を続けて企業力を高めてまいりました。時代がデジタル化、ネットワーク化、高速化する今日、あらゆるビジネスシーンに対応できるオフィス環境の構築は重要な問題となっております。こうした中、日東事務機は常にお客様のパートナーとして時代がもたらす様々な問題を解決するオフィス空間を提案してまいりますので、これからも変わらぬご愛顧のほど心からお願い申し上げます。

日東事務機株式会社

代表取締役 村瀬 尚宏

■環境方針

〈基本理念〉

私たち日東事務機株式会社は、「より愛される企業をめざす」を企業理念とし、地域社会の一員として、主たる事業である事務機販売及びサービス業務の活動を通じて、多くのお客様へ環境負荷低減の提案をしております。

また、次世代へより美しい自然環境を引き継ぐため、限りある地球資源を大切に、全社員が高い意識を持ち、地球環境の保全に貢献します。

〈行動指針〉

1. 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を常に意識し、次の項目を重点課題として取り組みます。

- ①電力及び自動車燃料の削減により地球温暖化防止に努めます。
- ②節水による水使用量の削減に努めます。
- ③廃棄物排出量の削減及びリサイクルに努めます。
- ④環境に配慮した製品の販売及び保守活動に努めます。
- ⑤社内備品、事務用品等のグリーン購入と調達に努めます。
- ⑥会社周辺道路の清掃活動による美化維持に努めます。

2. 環境関連法規制や弊社が約束したことを遵守します。

制定日：2015年9月1日

代表取締役 村瀬 尚宏

■主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	122,560
廃棄物排出量	kg	14,621
一般廃棄物排出量	kg	実績把握中
産業廃棄物排出量	kg	14,621
総排水量	m ³	315

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.497kg-CO₂/kWh

※化学物質の使用はありません

■環境目標及びその実績

項目	年度	基準年 2014年	2015年		2016年	2017年	
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
二酸化炭素削減 総量	kg-CO ₂	122,560	121,947	114,458	121,327	120,714	
	基準年比		99.5%	93.4%	99.0%	98.5%	
	電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	25,052	24,927	24,215	24,801	24,676
	基準年比		99.5%	96.7%	99.0%	98.5%	
	自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	97,508	97,020	90,243	96,526	96,038
	基準年比		99.5%	92.5%	99.0%	98.5%	
一般廃棄物の削減	kg	実績把握せず	実績により設定	397 11月以降把握実施	実績により設定	実績により設定	
	基準年比					98.5%	
産業廃棄物の適正処理	kg	14,621	適正処理100%	13,336 適正処理100%	適正処理100%	適正処理100%	
	基準年比						
水道水の使用量維持	m ³	315	313	174	312	310	
	基準年比		99.5%	55.2%	99.0%	98.5%	
グリーン購入の推進		実績把握せず	—	1月以降把握実施	実績により設定	実績により設定	
製品・サービスへの環境配慮	台(複合機)	344	347	356	351	354	
	基準年比		101%	103.5%	102%	103%	

■環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
-------	------	--------	-----------

電力による二酸化炭素削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
・PC、MFPの省エネ(スリープ)モードの設定	△	強化	夏場は昨年と比較すると冷房の使用量が増え電気使用量が増加傾向にありました。取組前ということもあり社員の意識も低く、事務所不在時でも冷房のつけっぱなしも見受けられました。取組期間である9月以降は社員の意識もあり昨年と比較すると使用量が減少してりました。 また本年度は、本社社屋を遮熱効果のある塗料で塗装をしたため、電気使用量の削減に来年度以降さらなる効果が現れることを期待したい。
・クールビズの採用	◎	継続	
・室内温度の調整調整	△	強化	
・トイレ不使用時、通路照明不要時の消灯	◎	継続	
・尾根への遮熱塗料の塗装	◎	継続	
・LED照明への切り替え	◎	継続	

自動車燃料による二酸化炭素削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
・エコドライブの徹底	△	強化	数年ほど前から社用車の更新はエコカーで入替しており、半分以上の車がエコカーとなりました。その影響で燃費が向上しガソリンの使用量は減少しておりますが、さらなる削減を目指すため11月にドライビング状況を把握できるメーターを導入しました。今後社員の意識はもちろんのことアイドリング時間など実数で管理できるよう取組でいきたいと思ひます。
・無用なアイドリングの防止	△	強化	
・タイヤ空気圧の適正値維持	△	強化	
・冷暖房を控えめに使用する	△	強化	
・エコカーの導入	◎	継続	
・更新時に低燃費車の選択	◎	継続	

一般廃棄物の削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
・コピー用紙の両面使用をする	△	強化	11月よりシュレッター廃棄量の計測を実施し始めました。まずは目標値を決めコピー用紙の削減に取り組んでいきます。今回の実績では段ボール廃棄量が増えておりますが、複合機・トナーに使用されているものが多いため、削減していくのは厳しいと思われまひす。
・書類内容のレイアウトを見直し、枚数を少なくする	△	強化	
・文書の共有により、不要な印刷物を削減する	△	強化	
・シュレッター廃棄量を計測監視実施	○	継続	

産業廃棄物の削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
・産廃処理(廃棄依頼)量の計測監視実施	◎	継続	産業廃棄物は適正処理100%を目標とし、実績としても適正処理100%することが出来ました。今後も継続して取り組んでいきます。
・在庫管理の徹底により、不良在庫を減らす	◎	継続	
・分別を徹底する	○	継続	

水道水の使用量削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
・節水表示を行う	×	強化	水の使用量が前年に比べ半分以下の使用になっておりますが、なぜ節水になっているのか原因がつかめておりません。社員の意識による節水への取組はもちろん、どのような時に多く使用しているのか原因を把握できるようにします。
・水道を流しながら使用しない	○	継続	
・蛇口・排水管の水漏れがないか確認をする	△	強化	

グリーン購入の推進

取組み計画	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
・社内用購入時チェックの強化	×	強化	数社のカタログ通販を利用して購入しているが、実施把握ができていないので、今後は目標値を決め取り組んでいきたい。
・目標値の設定	×	強化	

製品・サービスへの環境配慮

数値目標	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
・客先業務合理化の提案促進(主にデジタルMFP)	○	継続	本業である複合機の販売は対象期間である9月から11月で比較すると減少しておりますが、年間で比較すると前年以上の実績が出ると思ひます。今後も日々省エネに改良されている複合機の販売を通じて、お客様へも消費電力の削減などの環境へ配慮した提案をしていけるよう取組んでいきます。
・既存顧客の省エネ設計機種へのリプレース推進	○	継続	
・客先省エネ促進商材の提案(取扱商品全般)	○	継続	
・メーカー協賛の拡販キャンペーン実施	○	継続	

社会貢献

取組み計画	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
・会社周辺の清掃活動	△	強化	定期的に清掃活動できるよう徹底していきたい。

■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等が遵守されていることを確認しました。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

主な環境関連法規	遵守評価(○:遵守、×:要改善)
フロン排出抑制法	○
消防法	○
グリーン購入法	○

■代表者による全体の評価と見直し

本年度よりエコアクション活動への取組を開始し、LED照明・太陽光発電、遮熱塗料での社屋塗装など様々なことに取り組んでまいりました。太陽光発電の発電量に関しては、本社で使用している電力相当分を発電しております。しかし、まだまだ社員の意識も低いのが現状であります。今後は会社全体で環境問題について考え、電気の消灯やエアコンの温度設定等は互いに注意し合える組織の構築を目指し取り組んでまいります。

水道水の使用量は昨年と比較して50%以下の実績となっております。なぜここまで節水ができたのか原因がまだ把握できておりません。社員の意識以上に何か原因があるものだと思います。次年度以降取り組む中で、ただ単に社員への呼びかけをするのではなく、現状分析もしっかりと行いながら活動していきたいと思っております。

■環境活動の紹介



LED照明



太陽光発電



遮熱塗装



会社周辺清掃活動